

東由利町報

7月

昭和58年

No. 340 昭和58年7月1日発行 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画財政課 毎月1日発行

空から
こにちは

上里

役場→

老方

寺
田

湯出野

湯出野遺跡→

宮の前

島

老方バイパス

朋樂莊

公民館

有鄰館

東由利中

台山

本荘高下郷分校

町民グラウンド

ライスセンター

(今) S.57.11.6撮影

老方バイパス

東由利中

台
山

本荘高下郷分校

(昔) S.47.5.6撮影

老方駅跡に役場庁舎建設

町の中心部“老方地区”。昭和三十年七月二十三日、旧玉米村と旧下郷村が合併して東由利村が発足。新村役場庁舎は三十四年一月、横莊鉄道老方駅跡に竣工し、現在に至っています。昭和四十六年十二月、国道一〇七号線老方バイパスが完成し、西の浜と両前寺間の交通混雑が解消されました。

地区の南方に位置する台山からは、石器やヤジリ、土器などが出土し、縄文時代後期から晩期にかけてすでに生活していたことが認められています。

その台山に昭和四十五年、本荘高校下郷分校新校舎が建設され、翌四六年には統合東由利中学校が完成。以後、老松の緑豊かに老人いっこいの家（朋樂莊）や公民館、町民の殿堂“総合開発センター（有鄰館）”、町民グラウンドが建設され、付近一帯は、学園、研修、レクリエーション地区となっています。また、これら公共施設の建設に併わせ、地区内への住宅新築も増加の傾向にあり、新興集落として発展しつつあります。

校舎棟は 春 4月1日から使用

藏老方小 安全祈り地鎮祭

藏老方小学校完成予想図



藏老方小統合校の建設工事地鎮祭が六月二十九日、地鎮祭には、町、議会、教委、藏・老両校校長同PTA、地域代表、施工業者ら六十人余りが出席。町長と業者代表がクワ入れをし、関係者が玉ぐしきをさげて工事の安全を祈り、工事を安全に入れる所です。

（菅原俊一代表取締役）によるもので、校舎棟は鉄骨コンクリート造二階建て二、〇二七平方メートル、給食棟は鉄骨コンクリート造一階建て三七六平方メートル、体育館は鉄骨造（ギヤラリー付）七〇九平方メートルとなる。校舎棟の工期は五十九年二月末となつており、同四月一日から使用する予定です。体育館は、五十八・五十九年度継続事業として校舎棟と同時施工。完成は五十九年五月末を予定しています。

株式会社菅原建築設計事務所（菅原俊一代表取締役）によると、校舎棟は鉄骨コンクリート造二階建て二、〇二七平方メートル、給食棟は鉄骨コンクリート造一階建て三七六平方メートル、体育館は鉄骨造（ギヤラリー付）七〇九平方メートルとなる。校舎棟の工期は五十九年二月末となつております。同四月一日から使用する予定です。体育館は、五十八・五十九年度継続事業として校舎棟と同時施工。完成は五十九年五月末を予定しています。

【藏老方小学校建築工事請負契約の締結について】

- 契約の方法 指名競争入札
- 本体工事
- ・契約の相手方 大木建設
- ・契約金額 三、三〇〇万円
- ・契約金額 三、三〇〇万円
- ・契約の相手方 本荘電気工業株式会社取締役社長 塩谷和久（秋田市）
- ・契約金額 三、三〇〇万円
- ・契約金額 三、三〇〇万円

例の一部を改正

有鄰館集会室で即日開票

町長選投票は今月23日

- ▽ 八月十九日任期満了に伴う町長選挙は、六月二十一日△
- ▽ 日開かれた町選挙管理委員会で、七月十六日（土）告示、△
- ▽ 同二十三日（土）投票と決まりました。
- ▽ 開票は、即日午後七時から有鄰館集会室で行われます。△

ません。

選挙人名簿は七月十四日現

在で調製され、新規登録者を記載した書面は、同十六日か

ら二十日まで役場事務室で縦

覧できます。時間は、毎日午

前八時三十分から午後五時ま

でです。

投票できる人 生まれた人）で、本年四月十四日以前から引き続き町内に住んでいる人です。

投票できない人 投票できる人は、町の住民基本台帳に登録されている七月二十三日現在満20歳以上の人（昭和38年7月24日以前に年齢、住所などの条件が満たされて選挙権があつたとしている）と投票することはでき

投票所に行けないと選挙人で投票当日、やむを得ない用事のため投票所へ行

7月23日執行・町長選挙立会い演説会日程表

7月20日	7月19日
午前 9時	午前 10時 旧住吉小学校体操場
午後 1時30分	午後 5時 八塩小学校体操場
午後 2時	老方小学校体操場
午後 5時	袖山分館体操場
	大琴小学校体操場

注 1、候補者1人当たり演説時間25分。
2、候補者から立会い演説会参加の申出がない場合は、行いません。

不在者は、不在者投票ができるのは、告示日の十六日から投票日前日（二十二日）までです。時間は午前八時三十分から午後五時までです。

（町内で不在者投票をする場合）

不在になることを申し立てて、宣誓書にその旨を記載し署名押印してください。宣誓書は町選挙管理委員会にあります。

（町外で不在者投票をする場合）

印かんを持参のうえ、町選挙管理委員会で、投票日当日なりません。投票用紙を請求するための「請求書」と「宣誓書」の用紙は町選挙管理委員会にあり、告示前でも求めることができます。

請求書と宣誓書を受け取った町選挙管理委員会では、告示日後に投票用紙を請求した人に速達郵便で送付しますので、ただちに所在地の選挙管理委員会に行つて投票してください。

手続きが多少むずかしいので、旅行先、出稼ぎ先の市町村選挙管理委員会や入院している病院（指定病院に限る）の事務局で詳しく聞いてください。

た町選挙管理委員会では、告示日後に投票用紙を請求した人に速達郵便で送付しますので、ただちに所在地の選挙管理委員会に行つて投票してください。

藏老方小 建築工事契約を議決

臨時議会 石高地内 車道幅員四メートルに改良舗装

町議会第七回臨時会が六月二十二日に招集され、藏老方小学校建築工事請負契約の締結についてなど六議案を審議。いずれも原案どおり可決して閉会しました。

可決案件の概要は次のとおりです。

・契約の相手方 山二施設工業株式会社取締役社長 阿部永三郎（秋田市）

・契約金額 五、七二〇万円

・契約の相手方 本荘電気工業株式会社取締役社長 塩谷和久（秋田市）

・契約金額 三、三〇〇万円

・契約の相手方 本荘電気工業株式会社取締役社長 塩谷和久（秋田市）

・契約金額 三、三〇〇万円

・契約の相手方 本荘電気工業株式会社取締役社長 塩谷和久（秋田市）

・契約金額 三、三〇〇万円

農用地開発
公団事業

負担金徴収条例を制定

一般質問（概要）

横渡線改良費などを補正

六月定例議会

第六回町議会定例会は六月十日に招集され、会期を同日一日

限りと決めたあと、町長の行政報告があり、続いて一議員が一般質問。この後、町農用地開発公団事業負担金等徴収条例など四議案を審議、いずれも原案どおり可決して閉会しました。

行政報告の要旨及び可決案件概要等は次のとおりです。

出羽丘陵
開発事業

105名が本同意

町税18年連続完納達成

月一日から新校舎を使用したいと考えます。

設計額は予算額を上回っていますが、現行予算のままで入札をしたいと考えます。



行政報告を述べる町長

管工事の舗装修復工事を実施中で、近日中に完成します。

建設中のものは△浄水場△取水地△松柴・館合・小倉等の配水池——です。

浄水場の打コン後に地震があり、その検査結果内容は別紙配布のとおりです。

行政報告を申し上げます。
蔵老方小学校建設につきましては、設計が完成し、昨九月に現場説明をしました。指導者は別紙のとおりです。入札期日は、六月十七日としました。

教室棟は五十八年度事業、体育館は五十九年度の継続事業として一括発注します。教室棟の竣工は昭和五十九年二月末日、体育館は同年五月末日を予定し、五十九年四

出羽丘陵開発事業は、去る六月二十三日から二十七日ま

で本同意のための説明会を行ない、参加農家一〇五名全員の本同意を得ました。いよいよ本格的に動き出すことになりました。

事業概要は、東部地区の全

事業費が九十五億七千六百万円で、本町分はその四二・九

%の四十一億九百万円。草地造成面積二三八・四㌶で十六

億八千二百四十万円、農道工

総延長二九、四四四㍍で十七

億二千八百二十万円、その他

合わせて総事業費四十一億九

建設課の工事発注及び進捗状況、公共事業の発注状況

(六月十日現在)を別紙資料で報告します。

消防施設の防火水槽の発注

（六月十日現在）を別紙資料で報告します。

消防施設の防火水槽の発注

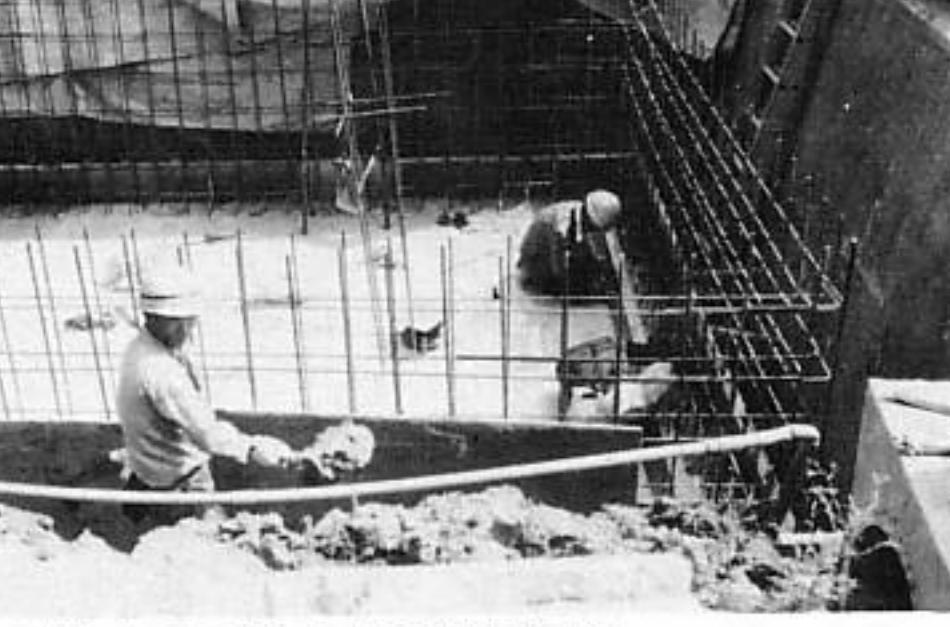
は、五十七年度町税の徴収結果は、調定額一億六千四百七十万円が五月三十一日で完納となり、町税納税完納継続十八

基を昨九日に入札しました。

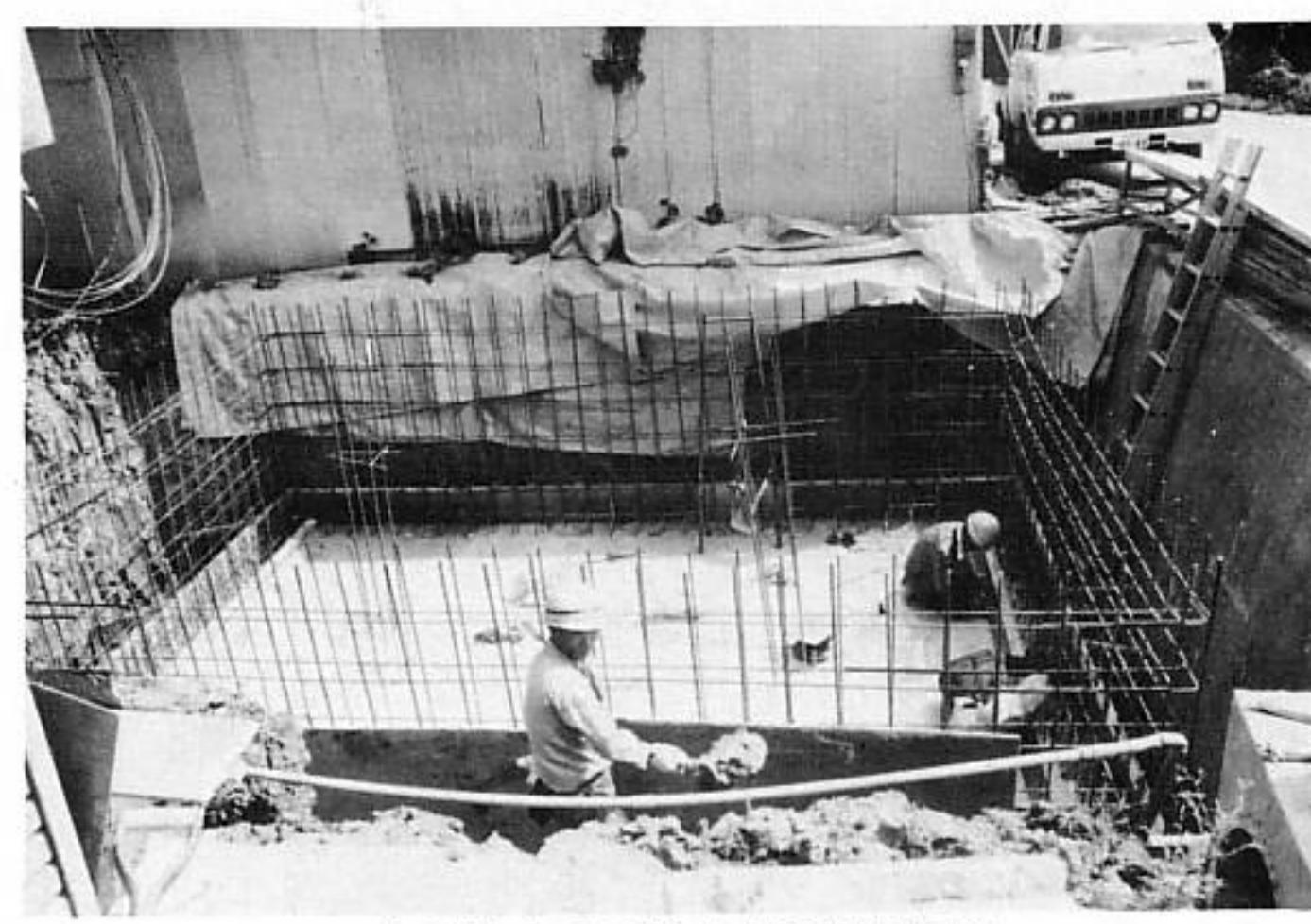
年の記録となりました。町民の皆様のご協力と担当職員の皆さんに心からお礼を申上げます。

国保税も、調定額一億一千七百七十六万八千円で完納となりました。本荘市由利郡の一人当たり平均国保税は三万四千九百五十円、これに対し本町は二万五千七百三十八円で、九千二百十七円低い額になっています。

五十七年度の国保の決算が出来ました。剩余金が四千七百八十八万三千四百二十六円となり、このうち財政調整基金に二千四百万円を積み立て、残りは翌年度に繰り越ししたいと考えています。



東由利水道拡張事業に伴う工事中の小倉配水池



上里地内での防火水槽建設工事

過日の地震による被害は、幸い本町ではありませんでしたが、この機会に、防災の意識を改め、また、被害地の各町村、県民の皆様に御見舞を申し上げたいと思います。

早急に次年度以降の年度別実施計画を明らかにすべきでないか。また、機械導入は、草地造成と同年度にするのか、翌年度になるのか。

上マイナスになるものであり、草地造成、機械導入、家畜導入等が齊合しないと營農では計画できない面がある。しかし、参加農家にとつては、草地造成、機械導入、家畜導入等が齊合しないと營農の計画の具体化がされるものであり、町の立場からだけでは計画できない面がある。

つて計画の具体化がされるものであり、町の立場からだけでは計画できない面がある。

いよいよ完成

昭和四十年に県単独事業として発注された法内線改良工事は、今年六月二十日の中の沢地内舗装工事発注により、十八年の歳月を経て東由利地域分全線が完成することになりました。

わたしたちは一般に「法内線」と呼んでいますが、正式には「県道神岡坂部横渡線」と言い、仙北郡神岡町から南外村、平鹿郡大森町を経て本町に至る約三〇キロの路線です。

度までに整備済みとなりました。しかし、県単事業は、予算的に限度があり、大幅な事業費配分は望めませんでした。

一〇八号線と結ぶ由利郡広域環状線の整備を提唱。その後、国・県の関係機関に強力に陳情を行つた結果、法内線は昭和四十六年に主要地方道に昇格し、翌四十七年に特殊改良一種事業が導入され、本格的な改良工事のスタートが切られたものです。

こうしたなかで昭和四十五年、本荘由利広域行政圏組合の発足に伴い小松村長（当時）は、本荘由利の各首長に、法内線を組み入れた由利郡広域環状線の整備を提唱、協議する小松村長（当時）＝S・45・10・6、丸山橋付近野田地内路上で。向かって左から東海林大内町長、加藤由利町長、土門象潟町長（加藤町長後ろ）、佐藤本荘市長、斎藤西目村長、柴田本荘企画課長、佐藤矢島町長、佐藤仁賀保町長、小松東由利村長、矢島町企画課長、佐々木由利郡町会事務局長

辺地のイメージ払しょく



↑改良舗装後の小倉地内



↑改良工事中の小倉地内=S.53.6.2



↑改良前の小倉地内





白沢峠で当時の佐々木副知事(現知事)と協議する町長=S.53.7.5



↑改良後の中の沢集落内=S.58.6.27



↑改良前の中の沢集落内=S.56.10.15



◀舗装工事中の十二の前地内=S.52.8

法内線(県道神岡) (坂部横渡線)

りっぱな舗装二車線道路に生まれ
変わったものです。

その昔、車どうしの交差が容易



↑りっぱな舗装道路に生まれ変わった新処地内

でなかつた法内線は今、沿線住民
から辺地といったイメージを払しょ
くし、かけがえのない生活道路、

産業道路として地域発展に大きく
貢献するものと期待されています。

トンネルに は

本町分の整備事業はこれで終了
となります。残る大森町境の白
沢峠については、平鹿土木事務所
によつて五十九年度からトンネル
工事が行われることになつており、
今年は六千万円で大森町坂部と白
沢峠間の暫定道路工事が行われま
す。

また、白沢峠と本町中の沢間に
ついては、トンネル工事と合わせ
て整備されることになつています。

→改良を待つ穴ぼこだらけの新処地内=S.47.12



釜坂地区の圃場整備完了

団体営規模では町最後の事業



【写真上】ほ場整備を終えた
釜坂地区水田[下]事業完了
を祝う関係者（大蔵館で）

横渡・釜坂地区の田畠十二・八鉢（うち畑一・八鉢）の圃場整備事業が完了し、六月十四日大蔵館で、町、議会、由利農林事務所、受益者、施工業者らが出席して盛大に竣工を祝い合いました。

同地区は、湿地や畑地が地区内にあることもあって、容易に圃場整備が進まないでいましたが、町内水田のほとんどが整備される中、関係受益者の整備に対する気運が高まり、昭和五十五年に団

舟木橋から杉森を通り沼に至る二、七四四メートルの町道金山線舗装工事が完成し、六月二十九日、町、議会、由利土木事務所、地域住民、施工業者らが出席して、竣工式が盛大に行われました。

同線は、去る昭和五十一年に林道から町道に編入され、翌五十二年から豪雪地帯特別措置法による基幹道路整備事業として、県が町に代わって全幅七メートルの改良工事を施工。改良完成とともに、五十六年

から町が事業主体となり、二分の一の補助を受け、市町村道路整備事業として車道幅員五・五メートルの舗装工事を進めてきたものです。

この日、出席者らは、現地での神事のあと、会場を高瀬館に移して祝賀会を行い、七カ年の歳月と五億一千八百九十万円の巨費が投じられ、りっぱな舗装道路に生まれ変わった金山線の完成を祝いました。



【写真上】りっぱな舗装道路に生まれ変わった金山線（杉森地内）
【下】開通式でテープにハサミを入れる左から小松町長、阿部由利土木事務所長、小野議長（沼地内で）

7月

青少年を非行から守る全国強調月間
第33回社会を明るくする運動展開

非行は

夏に芽生える

多くの人は、この長い休みの間に芽生えることが多いのです。七月は「青少年を非行からまもる全国強調月間」。親子で夏休みの過ごし方について考えてみてください。

待ちに待つた夏休みは、もう目前。子供たちははしゃぎ声が聞こえてくるようです。しかし、少年非行の

体営圃場整備事業を導入し、改良資金融資です。

この日、出席者らは、団体

工、暗渠排水を施工。五十七年度に換地配分を終え、事業完了となつたものです。

総工事費は七千五百八十万円、うち四千八百五万円が県からの補助金、残りは土地

整備事業となつただけに、感概もひとしおのようで、会場ではカラオケや手踊りも披露されました。



小笠原亮子さん

貯蓄増強中央委員会などが主催する「第二十九回わが家の家計簿体験談」の入賞作品がこのほど発表され、

本町蔵新田の小笠原亮子さんの作品が、見事優秀賞に輝きました。同コンクールには、全国から千二百五十九編の応募があり、その中から各都道府県の最優秀作品四十七編を集めて行われた中央審査の結果、決まったものです。

小笠原さんは、米を主体に肉用牛、露地野菜を加えた

小笠原さん (蔵新田) が優秀賞

わが家の家計簿体験談

専業農家で、三世代同居の八人家族。収入と使える生活費がはつきりしているサラリーマン家庭に比べ、農業収入を生産費と生活費に振り分ければならず、家計のやりくりは実のところ大変と言えます。

小笠原さんは、十一年前に家計を一切任せられたのを機会に家計簿の記帳を始めたといい、生活費だけでなく農業経営も細かく記帳。これとともに、家族全員で話し合いをして、経営の効率化、計画的経



比例代表制が選挙史上初めて導入された第13回参議院選の開票作業(有鄰館で)

83政治決戦といわれる中、第十三回参議院議員通常選挙は、六月二十六日に行われ、秋田県選出議員には新人で前副知事の出口広光氏が初当選

を果たしました。一方、選挙史上初めて導入された比例代表制は、本町では自民党が一、六〇九票と最も多く、有効投票総数の四五・

参議院選挙

投票率は76・30%で全県七位

表比例区もつたない無効132票

を果たしました。

本町投票率は、男子が七六・八二%、女子が七五・八一%、全体では七六・三〇%で四月の県知事選挙を〇・〇六%上回り、郡内では一番目、県下では七番目の高いものとなりました。

今回の選挙では、これまでの全国区制に代わって抱束名簿式比例代表制が新たに導入され、また、統一地方選後の選挙ということもあって、全国的に投票率の低下と用紙への記載違いによる無効票の増加が懸念されました。このため、町明るい選挙推進協議会では、広報車で「棄権防止」

〈昭和58年6月26日執行〉 参議院比例代表区開票結果

	投票総数 有無	効効 票票
1	3,657 3,525	7票 2票
2	1,321	票

政党等	名称	得票数
1	自由民主党	1,609 (211,407)
2	日本社会党	845 (157,341)
3	公明党	636 (62,298)
4	民社党	130 (32,807)
5	日本共产党	101 (45,165)
6	福社党	69 (20,738)
7	新自由クラブ民主連合	25 (7,519)
8	自由超党派クラブ	24 (3,755)
9	第二院クラブ	23 (8,194)
10	サラリーマン新党	17 (10,873)
11	無党派市民連合	11 (3,946)
12	MPD・平和と民主運動	10 (1,773)
13	日本国民政治連合	8 (1,144)
14	田中角栄を政界から追放する勝手連	7 (2,333)
15	教育党	5 (805)
16	民主党	2 (392)
17	日本世直し党	2 (610)
18	世界淨靈会	1 (109)

※ 本町での得票数の多いものから順に並べた。
カッコ内は県計得票数。

夏休み…子供の交通事故をなくそう!



夏休みになると、子供たちは、解放感などから、せっかく身についた正しい交通ルールや安全動作を忘れることがあります。家族みんなで、交通安全について話し合いましょう。

当選	出口	広光	自民新
秋田県選挙区			
投票総数	三、六五八票	二、〇七五票	二、〇七五票
有効	三、五六三票	九五票	九五票
無効	一、三三八票	一、三三八票	一、三三八票
次点	石川れんじろう	社会新	
	(二四七、五九四票)		
こだま	金友	共産新	
	一五〇票		
(四六、三七四票)			



老方小学校6年
佐藤真由美さん(左)
畠山 和枝さん(右)

毛
豆
記
者
通
信

昭和新聞社 記者会

私たちの学校は、とても古い校舎です。一、二年の教室がある校舎は昭和八年、体育館は昭和十六年、西側の校舎は昭和二十九年にできました。だから、冬になると、風や雪がすき間から入ってきます。

強い風など入つくると、ほこりが舞い、ときどきガラスもわれてします。でも、こんな古い学校でもみんな喜んで生活をしています。

私たちのじまんは、この校舎をみんなで協力して、ていねいにそうじをしていることです。毎月十七日は「愛校日」で、みんな一生けん命働きます。床や

毎月17日は愛校日

最後まで古い校舎を大事に

また、給食室もないので、皆んなお母さんの手作りの弁当を食べます。来年からは給食になるのは少し残念です。

春季全県高校軟式野球大会は六月七日・八日・十日の三日間、本荘市水林球場で行われ、本町の本荘高校下郷分校

校舎とも、あと九ヶ月余りでお別れです。それは、蔵と統合になるからです。でも、最後の最後までこの古い老方小学校を、きれいに大事に使ってください」と五月三十

一日、東北電力本荘営業所では、春のサービス旬間にちな

防犯灯寄贈、無料配線点検や信号機清掃も

東北電力 防犯、交通事故防止に役立てる

老方バイパス十字路の信号機を清掃する東北電力東由利出張所員

のし板も古くなつて黒ずんでいるので、ときどきクリンザーをかけ、タワシでこすつて白くなるようにしています。

校舎が古ないのでゴキブリなども住みついていますが、年に二度くらい土曜日に学級をしめきつて、煙りの出るバルサンという薬を使つて退治しています。また、屋根ののき下やかべのすき間などには、小鳥が巣を作っています。

少し鳴き声がうるさいですが、心が休まります。

春季全県高校軟式野球大会は六月七日・八日・十日の三日間、本荘市水林球場で行われ、本町の本荘高校下郷分校

校舎とも、あと九ヶ月余りでお別れです。それは、蔵と統合になるからです。でも、最後の最後までこの古い老方小学校を、きれいに大事に使ってください」と五月三十

一日、東北電力本荘営業所では、春のサービス旬間にちな

防犯灯寄贈、無料配線点検や信号機清掃も

東北電力 防犯、交通事故防止に役立てる

老方バイパス十字路の信号機を清掃する東北電力東由利出張所員

本荘高下郷分校が準優勝

春季全県高校軟式野球大会



春季大会で準優勝に輝いた本荘高下郷分校チーム

本校の本荘高校と対戦。大会前の練習試合では勝っているだけに「初優勝」の期待がかけられましたが残念、終始押しきみのゲームを展開しながら、再三の好機を逃し、惜しくも優勝旗を持ち帰ることはできませんでした。

しかしながら、今大会での同校の健闘に、関係者は、全

国大会予選を兼ねる夏季県大会での活躍に大きな期待を寄せていました。

同校の健闘に、関係者は、全

国大会予選を兼ねる夏季県大会での活躍に大きな期待を寄せていました。

東由利の
地名

= 37 =

明治二十二年にそれまでの館合村・田代村・黒渕村が合わさつて玉米村となり、三つの村名は大字として現在残されている。

この「玉米」の呼び名を種の記録からみると、①玉米
②玉米筋③到米④賜前⑤玉前⑥玉米筋⑦玉米郷など幾多の変遷があるようである。吉田東伍博士の地名辞典には「玉米、或は到米、賜前に作り、石沢川の山谷の汎名なり。今、雄勝郡仙道田代を上玉米とし、

玉
米

に至る二二〇年間（一説には
応仁元年（一四六七）から約
二九三年）の、由利の地頭と
して鎌倉から下つた十二の武
将が、互いに領地を守るために
の合戦したようすが記述され
ているものである。しかし誇
張されすぎたり、玉米と下郷

に關しての記述が少なく片
よつてゐるが、文中に「到
米某」とある。また「一五
七〇年到米より矢島を責め
到米勢多く討死に……」と
あるが、この十二頭の一つ
の到米が玉米の地名の起源
かも知れない。

うと学校教育であつて、家庭教育、社会教育を教育とする意識が薄い。それは、明治で、それまでの教育伝統が断ち切られて、学校制度によるヨーロッパの知識の吸収に急だつたためです。教育は、先人の文化と経験を継承して、次に新しい知識や意図が生まれる環境

營林署から次の事項について意見を聞かれました。

(一)、官行造林の伐期の来た林分については、出来るだけ伐採することについて。

(二)、官行造林の国の持ち分を町が買いとることについて（官行造林は、分収契約であつて、町と国が2分の一ずつの持ち分になつてゐる）

(三)、官行造林の国の持ち分を第三者に譲渡する可否について。

このようなことは林野庁が考えたのではなく、臨時行政調査会の考えによることは明

(三) いよいよ 第三者の
取得になれば、国土保全の
面から危惧される点が非常
に多くあります。

以上のように回答しまし
た。

臨調の考えは財政の合理
化ということでありましょ
うが、林業の本質をもつと
正しく認識してもらわなけ
ればならないと考えます。

八塙に咲くこの花の名は？

ふるさと学ぶ「町民登山」



二日、今年も八塩山で行わ
れました。

これは、出羽丘陵最高峰
の八塩山（七一三メートル）の動
植物の観察や頂上からの全
町眺望を通してふるさとを
学び合おうと、町公民館が
毎年実施しているものです

暑からず寒からずの絶好
の登山日和となつたこの日
は、四歳から六十二歳まで
の老若男女合わせて過去最
高の四十二人が参加。この
中には、横手市から参加し

歩く一行に、小松館長が、そこに自生する草花や木の名前、特徴などを説明。心地よい汗を額に、すがすがしい初夏の風を全身で受けた一行は、車のエンジン音も、電話のベルも聞こえない緑濃い自然の中で、まさに“ふるさとバンザイ”の楽しい一日を過ごしました。

町長日記

白
で
す

白です。

を創る作業です。「学社連携」は、バランスのとれた教育方向であつて、家庭教育と社会教育の延長線上に学校教育を位置づけてみることも必要であると思います。

策の基本を失うものです。

(二)については、町に買い取りの財源を与えるならば歓迎する一面もありますが無育施業の経費、人の配置

撫育施設の経費、人件配置からもまず不可能です。

(三)については、第三者の取得になれば、国土保全の面から危惧される点が非常に多くあります。

以上のように回答しました。

化ということでありましょ
うが、林業の本質をもつと
正しく認識してもらわなけ
ればならないと考えます。

水の誘惑

思わぬときに 事故は起ころ



目を光らせて
安全に
子供の水の事故は
保護者の責任です

7月(文月) のこよみ

曜日	行事
1 金	国民安全の日
2 土	
③ 日	第5回ママさんソフトボール大会
4 月	乳児健康相談(9:30、有鄰館)
5 火	
6 水	畜産共進会(上の代)、三歳児健康診査(13:00、有鄰館)
7 木	
8 金	町消防訓練大会(台山)、一歳六ヶ月児健康診査(13:00、有鄰館)
9 土	町長選挙立候補予定者説明会
⑩ 日	
11 月	循環器検診(八塩館)
12 火	タ(住吉会館)
13 水	タ(八塩小)
14 木	タ(有鄰館)
15 金	タ(大蔵館)
16 土	町長選挙告示
⑯ 日	
18 月	京都大学音楽教室(東由利中) 循環器検診(克雪管理センター)
19 火	タ(高瀬館)
20 水	町長選挙立会演説会、町県民税(1期)督促状発送
21 木	胃検診(~8月10日、日曜除く)
22 金	
23 土	町長選挙投票・開票
⑭ 日	
25 月	
26 火	少年自然教室(~28日、八塩山)
27 水	農業委員会、全県消防大会、ツベルクリン反応検査 5年生宿泊訓練(~29日、保呂羽山)
28 木	
29 金	リハビリ学級(13:30、有鄰館)、BCG予防接種
30 土	
⑮ 日	
摘要	
7/1~7/31「社会を明るくする運動」「青少年を 非行から守る全国強調月間」	
8/1 国保税(1期)、固定資産税(2期)納期限	

摘要

○ 善意
慶弔だより

○ 東由利農協
ビアの苗1,000本、マリーゴールドの苗300本。老方小へサルビアの苗750本、カンナ球根24球。

一、花火に書いてある遊び方をよく読み、必ず守る。
一、吹出し、打ち上げなどの筒もの花火は、途中で火が消えても筒をのぞかない。
一、花火をポケットに入れて歩かない。

○ 結婚

佐藤和枝、石高、藤原久美子、小松久安、長沼淳、新町久利、長男、遠藤友和、五海保、小松真己、下通利和、長女、遠藤經理子、祝沢富作、板戸武夫、二男、小野寺広行、二女、

佐藤和枝、石高、藤原久美子、小松久安、長沼淳、新町久利、長男、遠藤友和、五海保、小松真己、下通利和、長女、遠藤經理子、祝沢富作、板戸武夫、二男、小野寺広行、二女、

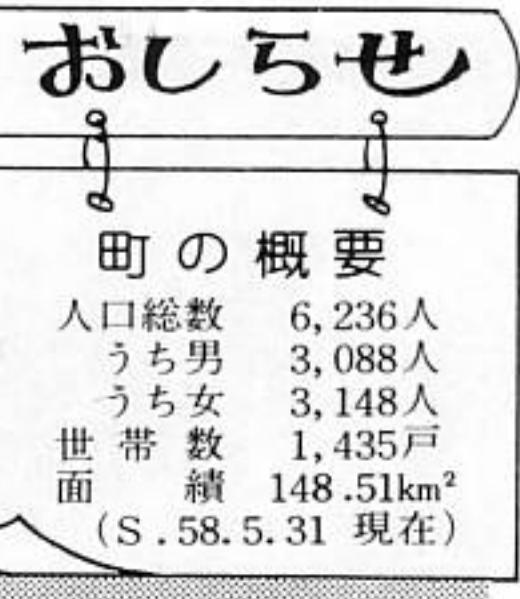
・お悔み申し上げます

○ うぶ声

5月21日~6月20日受付

△これくらい

阿部ちひろ 士の前 盛喜 長女



るとともに、町緑化推進委員会等とも協議し、環境緑化推進に役立てることにしています。

昭和58年度 警察官募集

△採用予定人員等

○秋田県 ≈約60人

○埼玉県・千葉県・警視庁
・静岡県・神奈川県 ≈合計
約30人

△受験資格 昭和31年4月2日から41年4月1日までに生まれた男子

△願書受付期間 7月1日~8月31日

△第一次試験日 9月25日(日)



東中生四人にスポーツ栄誉賞

町体協57年度に表彰制度創設

昭和五十七年度東由利町スポーツ栄誉賞の授与式が六月十四日、役場町長室で行われました。

同賞は、町民のスポーツ振興発展を図ることを目的に、

町体育協会が五十七年度新たに創設したもので、郡市大会で優勝及び県大会で三位以内

入賞を果たした個人、団体に

興発展を図ることを目的に、

町体育協会が五十七年度新たに創設したもので、郡市大会で優勝及び県大会で三位以内

入賞を果たした個人、団体に

△佐々木範子 ≈郡市小・中学

陸上競技大会や郡市小・中学校水泳大会で活躍した東由利中三年の石渡恵美さん、同一

年の長谷山雅子さん、鈴木貴子さん、佐々木範子さんの四

人で、体育協会長の小松町長から、賞状と記念の楯が贈ら

れました。

栄誉賞となつた大会成績は

次とのおりです。(敬称略)

○石渡恵美 ≈郡市陸上競技大

会(走り幅跳び)第一位(4

秒6)

△佐々木範子 ≈郡市小・中学

校水泳大会(五十メートル自由形)第一位(37秒2、大会新)

△同(五百メートル自由形)第一位(14

秒6)

△佐々木範子 ≈郡市小・中学

校水泳大会(五百メートル自由形)第一位(37秒2、大会新)

△同(五百メートル自由形)第一位(14

秒6)

△鈴木貴子 ≈全県選抜陸上競技大会(百メートル)第三位(14

秒50)

△鈴木貴子 ≈全県選抜陸上競技大会(百メートル)第二位(14秒3)・同(走り幅跳び)第二位(4メートル41)

△鈴木貴子 ≈全県選抜陸上競技大会(百メートル)第三位(14

秒6)

会(走り幅跳び)第一位(4

秒50)

△鈴木貴子 ≈全県選抜陸上競技大会(百メートル)第二位(14秒3)・同(走り幅跳

び)第二位(4メートル41)

△鈴木貴子 ≈全県選抜陸上競技大会(百メートル)第三位(14

秒6)



大盛況の地区運動会（住吉分館）



芸能競演の早苗振り大会（蔵分館）



歴史の町を訪ねた管外研修（老方分館）



親子一体で……（袖山分館）

地域づくりの拠点に

=各分館活動=

本格的活動に入った各分館の六月行事は、いずれも天候や会場、参加者等にめぐまれ幸先きよいスタートを切りました。中でも小学校統合後初めて学校の手を離れ、分館主催となつた住吉分館の地区運動会は五百人近い参加者で大成功をおさめました。また、第八回目を数える蔵分館のさなぶり大会も現蔵小学校会場が最後にな

八塩Aが連続優勝

父の日であり家庭の中でもあります。六月十九日台山グラウンドを会場に第三回父さんゲートボーリー大会、東由利中体育館を会場に第一回家庭バレー大会、東由利中体育館を会場に第一回家庭バレー大会が開催され、ゲートボーリーの部では八塩Aチームが二年連続、家庭バレーの部では中通りチームが初優勝を飾

ゲートボーリー大会には35人十チームが出場、梅雨晴れの熱戦を展開しました。

①八塩A②台山中年ク③中通A④家庭バレーボールの部⑤中通⑥下通⑦小倉中ノ沢

熱っぽく将来語り合う

「連青」一泊二日の自主講座で

町連合青年会（鈴木和雄会長）では六月十八・十九の両日、朋楽荘を会場に一泊二日の日程で青年講座を開催しました。会場には、勤めを終えた青

年男女三十名が集合、それぞれが自分自身を知り将来の歩むべき姿を考える：という開催趣旨に沿って、活発に討論し合いました。講師に予定した畠山昭一

身につけ、問題意識をもち合うことを確認しました。

また、日本海中部地震被災者への義援金募集や改正された参議院選挙制度の学習なども行い、二日目はバスケットボールなどで汗を流して全日程を終了しました。

第三回目は、今月五日、ゲートボール大会を兼ねた運動会となっています。

大坂良治郎（下小路）か
■民俗資料
ご寄贈ありがとうございます
■大事典 desk他

る：という思惑も加わってか、延べ二百人近くが出演、地域あげての芸能大会として地区民の親睦を深めました。

このほか、袖山分館の運動会や管外研修、老方分館の運動分館や同研修、法内分館の若妻とダンナの集いやゲートボール大会など、いずれもコミュニティ活動の拠点としての役割を十分果たしています。

公民館のひろば



広げよう連帯の輪

一方、男女混成の家庭バレーには六チームが参加、リーグ戦で和氣あいあいの中にも熱気あふれるプレーで会場を沸かせました。

各種目の成績は次のとおり。
父さんゲートボーリーの部
①八塩A②台山中年ク③中通A④家庭バレーボールの部⑤中通⑥下通⑦小倉中ノ沢

六月十日朋楽荘に大曲市老人クラブ連合会長の寺田忠夫

先生を迎えて、本年度二回目のことぶき大学が開催されました。

▼屋根ふき道具一箱ぞり一
▼むしろ織り道具一用心得繩
一金ぞり四田植型一

第2回
ことぶき大学

“曲った腰”伸びる？

先生を迎えて、本年度二回目のことぶき大学が開催されました。

▼屋根ふき道具一箱ぞり一
▼むしろ織り道具一用心得繩
一金ぞり四田植型一

ら次のとおり民俗資料をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

新規購入図書

▼証言の昭和史11▼日本古事美術全集25巻▼牛馬解き放ち▼真田太平記二・十四▼泣け、まり子先生▼いつしよう

余りの大学生たちはいちいちうなずきあい、瞳を輝かせていました。

午後は老化の防止と若返りに期待を込め、公民館職員と共に老化防止体操に軽く汗を流し「館長先生、これならば曲った腰も伸びる」と大喜びでした。

第三回目は、今月五日、ゲートボール大会を兼ねた運動

会となっています。

▼上杉謙信・上下▼ききたい

きかせたい生きた話材78▼講師になったときの話し方▼心

に訴える新しい話材集▼氣力

▼伊達政宗二・四▼昭和の歴史1・5▼現代の詩人9・12